

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	22
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進		担当部署名	子育て支援課 生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	○子どもの健全な育成を図るため、子どもたちの放課後や週末などの安全で安心な居場所づくりに取り組むとともに、異年齢や世代間の交流や体験活動の充実を図ります。また、児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とした健全育成の場を提供します。 ○子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、経済的な理由や家庭環境などによって困難を抱える子どもに対して、学習習慣の定着及び子どもの居場所の提供に努めます。 ○学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備・改修を図るとともに、公立学童クラブの指定管理者への委託、民間学童クラブへの支援を行います。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 印西市こども計画	
取組方針	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう 2 健康をこころからこころから 3 持続可能な開発目標 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 豊かさをこころからこころから 10 人や国がともに豊かになる 11 安全で持続可能なまちづくりを 16 平和と公正な社会をこころからこころから 17 パートナーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位: 千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・子どもの学習支援事業の実施: 週3回(木下地区: 週1回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) ・児童健全育成事業の実施(児童館等: 4ヵ所、児童遊園等10ヵ所) ★24学童クラブの指定管理者による運営 ★民間15学童クラブへの補助 ★学校施設を借用した学童クラブの運営7ヵ所	・子どもの学習支援事業の実施: 週3回(木下地区: 週1回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) ・児童健全育成事業の実施(児童館等: 4ヵ所、児童遊園等10ヵ所) ★24学童クラブの指定管理者による運営 ★民間15学童クラブへの補助 ★学校施設を借用した学童クラブの運営7ヵ所	・子どもの学習支援事業の実施: 週3回(木下地区: 週1回、千葉NT地区週1回、そうふけ地区週1回) ・児童健全育成事業の実施(児童館等: 4ヵ所、児童遊園等10ヵ所) ★24学童クラブの指定管理者による運営 ★民間15学童クラブへの補助 ★学校施設を借用した学童クラブの運営7ヵ所
事業費	748,929千円	731,197千円	728,109千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	ひとり親家庭等生活向上事業
	3-3-5	児童福祉施設費	児童遊園に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	中央駅前児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	子どもふれあいセンターに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	そうふけ児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	いんば児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブ施設整備事業

3. 事業実績等

単位: 円

令和7年度の 事業実績・成果	・公立学童クラブ(24学童クラブ)の運営を行った。 ・民間学童クラブ(14学童クラブ)への運営費補助を実施した。 ・高花学童クラブ(普通教室)、原学童クラブ(普通教室)の整備を行った。 ※公設民営(指定管理者)24学童クラブ、民設民営14学童クラブ計38学童クラブ ・生活困窮世帯及びひとり親世帯等の児童(小学4年生から18歳まで)に対し、学習支援や居場所の提供を行うことで、基本的な日常生活習慣や学習習慣の定着を図ることができた。(小学生登録者: 22人、利用者数: 517人/年中高生登録者: 26人、利用者数: 639人/年) ・児童館利用人数(そうふけ児童館 17,927人)(いんば児童館6,360人)(子どもふれあいセンター6,806人)(中央駅前児童館14,974人)	当初予算	748,929,000円
		予算現額	779,569,000円
		決算額	691,295,727円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子どもの学習支援事業の実施回数(1週あたり)	回	目標値	3	3	3	4	4
			実績値	3	3	4	4	4
	児童館事業の周知(児童館だよりの配布)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	33	34	35	37	39
			実績値	33	35	37	37	38
	学童クラブ入所定員数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,770	2,100
			実績値	1,570	1,645	1,770	1,915	2,190
	学童クラブ新設・改修工事の実施数	箇所	目標値	2	1	—	—	—
			実績値	2	1	3	4	5
成果指標	子どもの学習支援事業利用登録者数	人	目標値	30	40	40	40	50
			実績値	31	32	41	49	48
	児童館利用件数	人	目標値	80,600	80,700	80,800	80,900	81,000
			実績値	11,851	18,711	24,562	32,602	46,067
	学童クラブ入所児童数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,770	2,100
			実績値	1,467	1,654	1,847	1,975	2,121
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
民間学童クラブ事業者と新設に向けた協議を実施。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	23
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもと親の健康づくりの推進と 特別な支援が必要な子育て家庭への取組		担当部署名	子育て支援課、子ども家庭課、障がい福祉課
事業の実施目的及び概要	○子どもと保護者にとっての心身の健康は充実した生活の基本であることから、親子の健康の保持増進をより一層図るとともに、望ましい食習慣の定着を図る食育を推進します。 ○ひとり親家庭は子育ての負担が大きくなる傾向があるため、相談体制の充実や生活・就業・経済的支援等を行っていきます。 ○全国で児童虐待の事件が後を絶たない現状を踏まえ、今後も育児不安や児童虐待などの問題に早期に対応するための相談体制の整備・充実を図ります。 ○乳幼児健診や専門相談等を実施し、成長発達に支援が必要な乳幼児の早期発見及び親の育児不安等に対しての支援の充実を図ります。 ○心身の発達に心配や遅れのある児童が住み慣れた地域でのびのびと成長することを支えるため、発達に関する相談や療育などの支援を行います。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	母子及び父子並びに寡婦福祉法 母子保健法 成育基本法 児童福祉法 印西市子ども計画	
取組方針	子どもと親の健康づくりの推進と 特別な支援が必要な子育て家庭への取組			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう 2 健康と福祉 3 持続可能な開発目標 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 豊かさをみんなに実感しよう 10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を 11 住み続けられるまちづくりを 16 公正な裁判と法の支配 17 パートnership for the Goals			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。(新たに災害時保健活動訓練(助産訓練)の実施や1か月児健康診査への助成を開始) ★不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・子ども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 ・児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 ・子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。	★母子保健法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。 ★不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・子ども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 ・児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 ・子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。	★母子保健法及び成育基本法に基づき母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健事業を実施する。 ★不育症治療費助成事業にて不育症にかかる医療保険適応外の検査等の費用を助成し、経済的負担を軽減する。 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・子ども家庭センターにおける児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談体制の充実 ・児童虐待防止の啓発及び関係機関との連携により、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。 ・子どもの発達に関する相談(一般相談及び専門相談)や発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援)を行う。
事業費	556,603千円	550,663千円	550,817千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	子ども家庭総合支援拠点事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費等助成に要する経費
	3-3-3	母子福祉費	児童扶養手当給付事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	子ども発達センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	母子保健事業
	4-1-3	母子衛生費	不育症治療費助成事業
	4-1-3	母子衛生費	妊娠等包括支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・ひとり親家庭等に対しての助成内容については、子育て支援ポータルサイトでお知らせをすることで必要な方への発信に努めることができた。また、児童扶養手当現況届提出の際に就業状況等の相談に合わせ、自立支援給付金の制度の周知を行った。(子育て支援ポータルサイト「ひとり親家庭への支援・助成」閲覧数160件/月) ・家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図った。 ・児童虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関との会議等を行い、連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努めた。 ・妊婦健康診査延べ8,635人、産婦健康診査延べ1,188人・新生児聴覚スクリーニング検査686人、乳児健康診査(3-6月、9-11月)1,435人、1か月児健康診査612人が利用した。 ・幼児健診については、1歳6か月児健診1,113人、2歳児歯科健診866人、3歳児健診1,061人の利用があり、相談等対応に努めた。 ・SNSを活用した妊娠・子育てに関する支援として、LINE相談は登録者997人、相談件数276件となっている。YouTubeでの動画コンテンツも随時作成した。 ・5歳児相談では、年中学年1,248人に「子どものつよさと困難さアンケート(SDQ)」を実施し、希望者53人に心理士や保健師による相談を実施した。 ・低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業では3件、不育症治療費助成事業では3件へ助成した。 ・出産後の支援として、助産師による電話相談を1,486件実施したほか、乳児家庭全戸訪問事業については736件実施した。 ・災害時保健活動訓練(助産訓練)を1回実施した。 ・成長や発達に関する不安に対し、専門相談などで対応方法等をアドバイスし、必要な支援につなげた。(発達相談:延625人、言語聴覚相談:延481人、運動発達相談:延150人、作業療法相談:延116人、保育園幼稚園への巡回相談:延37園) ・子ども発達センター利用者のニーズと状況に合わせたグループを組み、それぞれに課題を設定し療育を行った。契約者83人、延べ2,896人に療育を実施し、小集団の療育の中で利用児の困り感が改善されたり生活習慣や行動が身についた。また、療育を利用している保護者を対象に、保護者学習会を実施し支援を行った。 ・利用児が在籍する園と発達の状況の共有や相談対応、保育所等訪問支援等で連携を密に行うことができた。 ・障害児相談支援事業において児童発達支援利用児71人、放課後デイサービス利用児24人の計画相談、モニタリングを実施し、保護者支援の充実を図った。	当初予算	556,603,000円
	予算現額	522,333,000円	
	決算額	458,978,311円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ひとり親家庭等医療費助成の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	3	3
	相談事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	母子・父子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	243	243	243	241
成果指標	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)の実施率	%	目標値	92	94	96	98	100
			実績値	95	95	99	100	99
	ひとり親家庭等医療費助成件数	件	目標値	3,600	3,600	6,500	6,500	6,500
			実績値	6,322	6,613	6,672	6,261	6,539
	母子・父子自立支援相談件数	件	目標値	24	24	24	24	60
			実績値	35	39	66	61	57
	児童家庭相談件数	件	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	367	327	356	335	347
	児童虐待相談件数	件	目標値	180	180	180	180	180
			実績値	258	234	245	251	244
	健やか親子21聞き取り項目 育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	%	目標値	85	90	95	95	95
			実績値	83	80	84	84	87

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各事業を計画的に実施し、相談・健診・療育等を通じて切れ目のない支援を継続することができた。デジタル手法も活用しながら支援の充実を図った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	発達面の課題や育児不安等の把握や支援につながっていると考えられる。療育等においても子どもの変化や保護者支援の効果がうかがえる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	母子保健から発達支援まで一体的に取り組み、安定した支援体制を維持することができた。今後もニーズに応じた支援の充実が求められる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
各取組を継続しながら、支援ニーズの増加や多様化に対応するとともに、支援の効果を分かりやすく把握していくことが重要である。あわせて、デジタル活用や関係機関連携をさらに深め、早期対応や予防的支援の充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	24
実施計画事業名	子育て家庭への切れ目のない支援		担当部署名	子育て支援課、保育幼稚園課、子ども家庭課
事業の実施目的及び概要	○少子化や核家族化が進む中、育児の孤立化や育児不安が大きくなる前に支援することが重要であることから、子育て家庭が身近な地域で切れ目ない支援を受けられる体制づくりを推進するとともに、子育てに関する相談体制や情報提供体制の充実に努めます。 ○公立保育園での安全かつ質の高い保育サービスの提供及び老朽化した保育施設の計画的な改修整備を推進するとともに、民間保育園の運営に対する補助や民間保育園新設に対する施設整備補助を行い、保育サービスの充実と保育の受け皿拡大による保育園待機児童解消を図ります。また、保育を必要とする児童の受入れを行う民間保育園に対して、国が定める公定価格に基づき委託料を支出します。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 母子保健法 成育基本法 印西市こども計画	
取組方針	子育て家庭への切れ目のない支援			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1貧困をなくそう 2気候変動に具体的な対策を 3健康と長寿を促す 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう 8働きがい、経済成長、雇用 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 16平和と公正 17パートナーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・児童手当の支給及び医療費の助成 ★地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ★子育てヘルプサービス事業の実施 ★子育てコンシェルジュによる相談(利用者支援事業)の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ★産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ★子育て短期支援事業の実施 ★こども家庭センターにおける育児相談の実施 ★妊婦等包括支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・待機児童対策のための取り組みの実施 ★各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ★保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 ・民間保育園の運営に対する補助(拡充) ★こども誰でも通園制度実施に向けた調整 ★各保育園への送迎保育ステーション実施に向けた整備	・児童手当の支給及び医療費の助成 ★地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ★子育てヘルプサービス事業の実施 ★子育てコンシェルジュによる相談(利用者支援事業)の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ★産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ★子育て短期支援事業の実施 ★こども家庭センターにおける育児相談の実施 ★妊婦等包括支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・高花保育園改修工事関係者調整等 ・待機児童対策のための取り組みの実施 ★各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ★保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 ・民間保育園の運営に対する補助 ★こども誰でも通園制度の実施 ★各保育園への送迎保育ステーション実施 ・小林子育て支援センター改修工事実施設計	・児童手当の支給及び医療費の助成 ★地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ★子育てヘルプサービス事業の実施 ★子育てコンシェルジュによる相談(利用者支援事業)の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ★産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ★子育て短期支援事業の実施 ★こども家庭センターにおける育児相談の実施 ★妊婦等包括支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・高花保育園改修工事実施設計 ・待機児童対策のための取り組みの実施 ★各種保育サービスの実施 (時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ★保育園等を利用する多子世帯負担軽減策の実施 ・民間保育園の運営に対する補助 ★こども誰でも通園制度の実施 ★各保育園への送迎保育ステーション実施 ・小林子育て支援センター改修工事
事業費	10,532,136千円	10,554,429千円	10,612,904千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ブックスタート事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てヘルプサービス事業、利用者支援事業に要する経費、子育て短期支援事業に要する経費、認可外保育施設等の無償化に要する経費、子育て世帯訪問支援事業に要する経費、産後ケア事業に要する経費
	3-3-2	児童措置費	児童手当給付事業
	3-3-4	保育所費	保育園運営に要する経費、地域子育て支援センター「こあら」に要する経費、保育園給食運営事業、民間保育園の保育委託に関する経費、民間保育園等運営費支援事業、民間保育園施設整備事業、保育園施設改修事業、乳児等通園支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	つどいの広場事業、小林子育て支援センターに要する経費、滝野子育て支援センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	子ども医療費助成事業、未熟児養育医療事業、妊婦等包括支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・ブックスタート事業については、児童館にて絵本の配布とボランティアによる読み聞かせを実施し、保護者と乳幼児が絵本を通じてふれあうきっかけを提供することができた。 ・ファミリーサポートセンター事業については、育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人による会員組織への登録を行い、会員同士が相互援助活動を実施することで、子どもの預かりや送迎など地域への子育て支援の推進を図ることができた。 ・地域子育て支援拠点事業については、市内20か所で展開し、年間を通じて多様な交流・相談支援を実施した。全拠点での延べ利用人数は73,602人で、孤立感の軽減や育児不安の解消につながった。 ・もとの幼稚園の保全改修工事の設計を行った。 ・今後の待機児童対策として、小規模保育施設の新規設置や既存施設の定員変更を行った。 ・医療的ケア児を受け入れるための人員体制として、看護師を増員した。 ・民間保育園等の運営に関する経費の補助について、対象範囲の拡大及び補助単価を増額した。 ・食料品等の物価高騰の影響を受けている民間保育園等について、給食材料費の高騰による給食費の上昇を抑制するために補助を行った。 ・こども誰でも通園の令和8年度開設に向けた準備を行った。 ・送迎保育ステーションの令和8年度開設に向けた準備を行った。 ・子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業、子育て世帯訪問支援事業、産後ケア事業及び子育て短期支援事業を実施し、安心して子育てができるよう、必要な支援を行うことができた。 ・子育てヘルプサービス事業では利用者の利便性を重視しLINEによる申請システム、カード決済を導入した。件数は293件、時間では1,827時間の利用があった。 ・産後ケアでは、より利用が拡大するよう体制を強化するため近隣市町村には委託料と委託内容、施設改修への補助についての考えを、契約施設へは施設拡充の意向等の調査を行なった。結果としては、施設拡充を検討しているという施設や補助を検討している市町村が見られなかったため、拡充の方向としては、安全面や物価高騰を配慮した委託費の引き上げや、支援の必要性の高い利用者の受入れ加算を設定する。 ・妊婦のための支援給付では、母子健康手帳発行時及び赤ちゃん訪問時の保健師や助産師等の専門職による面接を継続、また、妊娠7か月頃のアンケートも引き続き行い、希望者等に面談を実施し、要支援者の早期把握と、切れ目のない相談支援の充実を図った。加えて、経済的支援として、妊婦のための支援給付を一体的に実施した。	当初予算	10,532,136,000円
		予算現額	10,742,688,000円
		決算額	10,257,371,662円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値 ※高校生等医療費助成制度は令和5年8月より子ども医療費助成制度に統合しました。

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子ども医療費・高校生等医療費助成制度の周知(広報への掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	4
	地域子育て支援拠点事業実施箇所	箇所	目標値	24	24	25	25	23
			実績値	24	25	23	23	20
	ファミリーサポートセンターの提供会員	人	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	91	94	96	108	92
成果指標	育児相談実施箇所	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11	11	9
	改修工事の実施数	園	目標値	—	1	1	—	1
			実績値	—	1	1	—	0
	子ども医療費及び高校生等医療費助成件数	件	目標値	265,000	265,000	265,000	265,000	350,000
			実績値	242,747	268,843	342,540	359,310	339,811
	地域子育て支援拠点事業利用者数	人	目標値	95,000	95,000	95,000	95,000	60,976
			実績値	49,892	69,523	69,906	70,211	73,602
	ファミリーサポートセンター事業の利用時間	時間	目標値	2,250	2,250	2,250	2,250	2,786
			実績値	2,919	2,937	2,442	2,692	3,770
	子育てコンシェルジュによる(利用者支援事業)相談利用者数	人	目標値	320	320	320	320	320
			実績値	317	256	323	353	317
	4月1日現在保育園在園児童	人	目標値	2,700	2,800	3,200	3,800	3,800
			実績値	2,748	3,057	3,334	3,457	3,515

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各種子育て支援事業や保育環境整備を計画的に実施し、子育て支援の充実に取り組むことができた。あわせて新規事業の準備や利便性向上にも対応した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地域子育て支援拠点の利用や各種支援の活用により、育児不安の軽減や子育て家庭の負担軽減につながっていると考えられる。利便性向上の取組も利用のしやすさに寄与している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	地域支援、保育環境整備、各種サービスを組み合わせた取組により、子育て支援の基盤整備が着実に進んでいる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き待機児童は0名であるが、保育園の在園児数は引き続き増加しており、また、希望する保育園に入園できない保留者も多数いることから、今後も送迎保育ステーションやこども誰でも通園制度の事業の拡大により、待機児童対策や保育サービスの充実を図る。あわせて、各種子育て支援事業の充実を図り、子育て家庭の多様なニーズに対応した支援の推進に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	25
実施計画事業名	子どもたちの学ぶ力を育む	担当部署名	指導課 学務課	
事業の実施目的 及び概要	3つを柱とした子どもたちの資質・能力(①生きて働く知識及び技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など)を育成するため、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	学ぶ力を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育てでの希望をかなえる			
関係するSDGs	4 質の高い教育をみんなに 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ★イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ2回、ジャンプ1回) ★ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・支援員等を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ★イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ2回、ジャンプ1回) ★ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・支援員等を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト(3回)、英語コミュニケーション能力検定の実施(2回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ★イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ2回、ジャンプ1回) ★ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・支援員等を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援
事業費	504,081千円	504,081千円	504,081千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	特別支援教育事業、進路対策事業、国際理解教育推進事業
	9-1-4	教育センター費	教育に関する調査・研究・開発事業、教育情報収集・活用事業、教職員研修事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業、職場体験事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・「印西市世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト」の実施に伴い、英語コミュニケーション認定テストを全小学校で実施し、のべ1356名の児童が受検した。 ・特色ある教育活動について、教科等の指導におけるICT活用・情報教育の指定を全小中学校、外国語教育の推進の指定を小学校4校(内野小・原山小・木下小・小林北小)に、指導主事が指導・助言を行った。 ・イングリッシュアカデミーホップ・ステップの事業については、2日間で合計192名の児童が参加し、外国語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることができた。ジャンプの事業では、中学生20名がオーストラリアのメルボルンに7日間ホームステイし、現地校との交流や英語の能力の向上を図った。 ・ALT13名の派遣及び英語教育コーディネーター12名の配置を通じて、幼・小・中学校での外国語教育の円滑な推進を図ることができた。 ・生き生き体験として、9校の中学校の2年生徒1063名(29名減)が、市内の187事業所(7事業所減)で職場体験を行った。 ・特別支援教育研修会は、特別支援コーディネーターと特別支援学級担任を対象に年1回実施し、のべ63名が受講して市内の特別支援教育や教育課程の作成方法について共通理解を図った。 ・早期就学相談では、176件(37件増)に応じた。 ・学習指導員・支援員等を対象とした研修会は、個々のニーズに応じたきめ細かな教育的支援を行うための研修会を年2回実施し、79名が受講した。 ・「漢字級別認定テスト」については3回実施した。のべ数で目標値を大きく上回る受検者があった。 ・各校で行われる授業研修会等に指導主事等を150回派遣し、授業の工夫・改善に向けた指導助言を行った。 ・夏季研修会については、現場のニーズや教育課題に応じた18講座を開催した。参加した教職員(延べ622名)にとって満足度の高い研修を実施した。 ・学校図書館システムによる、検収、検索、貸出、返却、各種統計処理等を継続させるとともに、大規模校に図書PCを増設することで、学校図書館の機能の充実を図った。	当初予算	504,081,000円
		予算現額	505,515,000円
		決算額	471,436,831円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	漢字級別認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	計算力認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	—
			実績値	3	3	3	実施なし	実施なし
	英語コミュニケーション能力検定の実施回数	回	目標値	—	—	—	—	2
			実績値	—	—	—	—	2
	夏季研修会に参加した教職員の満足度割合	%	目標値	90	90	91	91	92
			実績値	95	95	99	94	95
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	中止	代替実施	1	1	1
成果指標	漢字級別認定テストの受検者数	人	目標値	11,000	11,110	11,221	11,333	11,447
			実績値	12,970	12,810	12,605	12,861	13,063
	計算力認定テストの受検者数	人	目標値	10,000	10,100	10,201	10,303	—
			実績値	12,304	12,940	12,719	実施なし	実施なし
	英語コミュニケーション能力検定の受験者数	人	目標値	—	—	—	—	1,530
			実績値	—	—	—	—	1,356
	学校評価(授業力向上)における児童生徒の肯定的回答率	%	目標値	88	88	88	89	90
			実績値	91	90	93	92	93
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の事後追跡調査結果 * 1	%	目標値	80	—	—	—	80
			実績値	90	R2年度中止	R3年度中止	R4年度代替実施	90
	上記の見込対象児童に対する就学相談の実施率 * 2	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100

*1 イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)を実施した2年後に行う追跡調査において、「研修経験が高校進学や将来の職業観など、進路選択に生かした」と回答した参加生徒の割合
*2 ここでは就学前児童及び就学前相談を対象としている。

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	漢字級別認定テストは令和7年度に、計算力認定テストは令和6年度に終了しており、令和8年度以降は英語コミュニケーション能力検定テストを推進していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等

外国語活動(英語科)において、「世界に羽ばたくグローバル人材育成プロジェクト」の実現に向け、英語コミュニケーション力認定テストを小学校5・6年で実施した。国語科では、漢字級別認定テストでは一定の成果が見られたため、ロジカルシンキングトレーニングテストを16校で先行実施した。令和8年度は全校で実施する予定である。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	26
実施計画事業名	子どもたちの豊かな心を育む	担当部署名	指導課	
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの豊かな心や創造性を涵養するため、道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動等の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	豊かな心を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	4 質の高い教育を みんなに 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・不登校児童生徒支援の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・不登校児童生徒支援の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・不登校児童生徒支援の充実 ・面接相談・電話相談の充実
事業費	76,511千円	76,511千円	76,511千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	小中学校芸術文化体験事業
	9-1-4	教育センター費	自然科学体験学習事業
	9-1-4	教育センター費	教育相談事業
	9-1-4	教育センター費	不登校支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・道徳教育実践研修会については、教育センターでの理論研修を受け、各学校での授業実践をし、最後にまとめの活動を行うという形式で、各学校1名参加し、道徳教育の核となる教員の育成と資質向上を図った。 ・各学校で実施した教職員対象の学校評価アンケート結果から、心の教育の充実の設問に対して好意的回答をした割合が90%を超えた。 ・学校での人権教育研修において、事例を踏まえて今日の子どもの人権問題を中心に理解を深めた。 ・さわやかハートフルコンサートには、市内18小学校、8中学校の計26校が参加した。音楽活動を通して児童生徒の学びあいや豊かな情操を養った。 ・小学校6年生児童を対象に小学校芸術鑑賞教室を4回に分けて開催しおよそ1,200人児童が参加した。狂言や落語等の古典芸能を味わい、日本の伝統芸能についての理解を深めた。 ・教育センター主催の自然科学体験は、里山観察会、星空観察会、科学実験教室を実施し、のべ93名が受講した。 ・市教育支援センターには最大26名の児童生徒が、8中学校内及び5小学校内の校内教育支援センターには最大229名の生徒が在籍した。児童生徒個々の状況に応じ、学校との心的距離を縮め、心の安定につながった。 ・面接および電話にて、教育センターで591件の相談に応じた。(このほか指導課でも面会相談335件、電話相談225件に応じた。)	当初予算	76,511,000円
		予算現額	80,871,000円
		決算額	69,961,295円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道徳教育授業実践研修会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	さわやかハートフルコンサートの開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	小学校芸術鑑賞教室の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	自然科学体験教室の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	3	2	2	3
成果指標	教育支援センター(旧:適応指導教室)の開室日数	日	目標値	195	195	195	195	195
			実績値	193	194	190	190	193
	学校評価(道徳・心の教育の充実)における教職員の肯定的回答率 * 1	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	99	95	97	97	99
	市内全児童生徒に対するさわやかハートフルコンサート参加児童生徒数の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	20	20	21	20	21
	小学校芸術鑑賞教室の参加児童数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,100	1,200
			実績値	1,131	1,180	1,206	1,210	1,233
	事後アンケートにおける自然科学体験教室参加者の肯定的回答率 * 2	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100	実施なし	100
	教育支援センター(旧:適応指導教室)に通室する児童生徒の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100

* 1 学校評価「あなたほ豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めているか」の問いに対し、「そう思う」「どちらかというそう思う」と回答した教職員の割合
* 2 事後アンケート「今後も体験学習会に参加してみたいか」の問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した参加者の割合

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	校内教育支援センターの充実を進めていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市内の2ヶ所の市教育支援センターに加え、令和7年度に新たに市内5小学校に校内教育支援センターを設置し、令和6年度に設置した市内8中学校と合わせ13校に拡大した。自分の所属する学級に入れないが、校内教育支援センターに通学できる生徒が200名を超え、個に応じた多様な学びの機会の提供をすることができた。令和8年度以降も順次小学校に校内教育支援センターを新設し、より児童生徒に寄り添った支援を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	27
実施計画事業名	子どもたちの健やかな体を育む	担当部署名	指導課 学校給食課	
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの運動に親しむ資質・能力の育成や体力の向上を図るため、学校体育の充実や部活動の支援に努めるとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 学校給食法 第2期印西市教育振興基本計画 学校保健安全法	
取組方針	健やかな体を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ★地産地消の促進、学校給食での地元食材の利用 ★学校給食費無償化 ・食物アレルギー等学校給食費相当額の助成	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ★地産地消の促進、学校給食での地元食材の利用 ★学校給食費無償化 ・食物アレルギー等学校給食費相当額の助成	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ★地産地消の促進、学校給食での地元食材の利用 ★学校給食費無償化 ・食物アレルギー等学校給食費相当額の助成
事業費	2,143,365千円	2,143,365千円	2,143,365千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	部活動推進事業
	9-1-3	教育研究指導費	小学校駅伝競走大会
	9-6-1	保健体育総務費	学校保健事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食事務費
	9-6-3	学校給食費	高花学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	牧の原学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	印旛学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	中央学校給食センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・小学校駅伝競走大会は、応援児童の参加は無しにするなど多少の縮小は行ったが、例年に近い形で実施することができた。 ・市内全中学校に部活動サポーター18名を、陸上・ソフトテニス・卓球・バレーボール・サッカー・剣道・吹奏楽・野球の部活動に配置した。学校の部活動と地域スポーツ、地域文化活動をつなぐ架け橋となった。 ・児童生徒の定期健康診断、小児生活習慣病予防検診及び事後指導は、感染対策を講じながら通常どおり実施できた。 ・18小学校、9中学校で実施したブラッシング指導には、のべ5,841名の児童生徒が参加した。 ・小児生活習慣病検診には、3,416人の児童生徒が受検し、その後の事後指導を受け、自己の生活習慣を振り返り、今後の生活の仕方について目標をもつことができた。 ・栄養教室については、全小学校で実施した。 ・家庭・地域と連携した食育については、ホームページ、献立表及び食育つうしん等で保護者に情報配信した。また、家庭教育学級では、給食への理解及び食生活の大切さを伝えた。 ・学校給食実施基準に基づき、献立の工夫・改善を行い、学校給食の充実に努めた。 ・地元野菜及び果実を使用した給食を提供し、児童生徒への周知を図ることで、地域の農業や食への理解を深めることに努めた。 ・令和6年9月から開始した学校給食費無償化を引き続き実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 ・令和7年度から食物アレルギー等児童生徒学校給食費相当額助成を開始した。	当初予算	2,143,365,000円
		予算現額	2,230,847,000円
		決算額	2,164,519,384円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小学校駅伝競走大会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	小学校における歯科健診の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
	中学1年生における小児生活習慣病予防検診及び事後指導の実施校数	校	目標値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
			実績値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
	小学校における栄養教室の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
成果指標	大会に向けた課外活動に参加する児童数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,214	1,114	1,245	1,013	1,007
	健歯またはむし歯を治癒した児童の割合	%	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	88	88	89	90	86
	中学3年生時における肥満度有所見者の割合	%	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	11	10	12	11	14
	小学生の朝食の欠食率	%	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	3	2
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	教職員負担も大きく、応援児童の参加をなくし、引率などの負担を減らした。令和8年度で終了予定。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
児童生徒の発達段階をふまえた上で、工夫しながら事業を実施することができ、目標値程度の実績を収めている。今後も引き続き、事業内容を工夫・見直し・改善しながら継続し、児童生徒の健やかな体の育成に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

実施計画事業名	教育環境整備の充実		担当部署名	教育政策課 学務課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。 児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設 や教育環境を継続的に整えます。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育大綱 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基 本方針 印西市学校施設長寿命化計画	
取組方針	教育環境整備の充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・施設の改修や学級増に対応した増築 ・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就 学奨励費の支給) ★学校現場における適切な人材確保及 び人員配置 ・小中学校が実施する修学旅行費の一 部補助 ★小学校スクールバスの運行 ・印西市立小中学校への通学手段とし て路線バスを利用している児童及び生 徒に対し、定期乗車券分の全額補助 ・教材の維持・修繕 ・小中学校特別教室及び配膳室エア コン実施設計 ・小中学校特別教室及び配膳室エア コン設置工事 ★小中学校体育館エアコン実施設計 ★原小学校分離新設校設計業務委託	・施設の改修や学級増に対応した増築 ・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就 学奨励費の支給) ★学校現場における適切な人材確保及 び人員配置 ・小中学校が実施する修学旅行費の一 部補助 ★小学校スクールバスの運行 ・印西市立小中学校への通学手段とし て路線バスを利用している児童及び生 徒に対し、定期乗車券分の全額補助 ・教材の維持・修繕 ・小中学校特別教室及び配膳室エア コン設置工事 ★小中学校体育館エアコン実施設計 ★小中学校体育館エアコン設置工事 ★原小学校分離新設校設計業務委託	・施設の改修や学級増に対応した増築 ・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就 学奨励費の支給) ★学校現場における適切な人材確保及 び人員配置 ・小中学校が実施する修学旅行費の一 部補助 ★小学校スクールバスの運行 ・印西市立小中学校への通学手段とし て路線バスを利用している児童及び生 徒に対し、定期乗車券分の全額補助 ・教材の維持・修繕 ・教師用指導書・教科書の整備 ★小中学校体育館エアコン実施設計 ★小中学校体育館エアコン設置工事
事業費	4,965,088千円	1,425,055千円	1,455,055千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-2	事務局費	通学支援に要する経費
	9-1-3	教育研究指導費	きめ細かな教育の充実事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設整備改修事業
	9-2-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業、就学援助事業、小学校修学旅 行費補助事業、教材に要する経費
	9-3-1	学校管理費	中学校施設整備改修事業
	9-3-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業、就学援助事業、中学校修学旅 行費補助事業、教材に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給:377件、特別支援教育就学奨励費の支給:326件) ・学校現場における適切な人材確保及び人員配置 (学習指導員:67人、支援員:53人、日本語指導員:11人) ・小中学校が実施する修学旅行費の一部補助実績数 小学校18校、中学 校9校 ・印西市立小中学校へ通学手段として路線バスを利用している児童及び生 徒に対する補助実績数 40件 ・原山小学校保全改修工事、大森小学校大規模改修工事、いには野小学 校体育館改修工事、印西中学校体育館改修工事、小中学校特別教室空調 設備設置工事、小林小学校大規模改修工事設計業務委託、屋内運動場空 調設備設置工事設計業務(3校)、小・中学校特別教室等空調設備設置工 事実施設計業務委託 ・西の原中学校校舎増築工事	当初予算	4,965,088,000円
		予算現額	3,589,348,900円
		決算額	2,737,878,756円
		翌年度 繰越額	747,201,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	大規模改修及び設計実施数	件	目標値	2	3	3	3	6
			実績値	2	4	3	6	5
	増築事業の実施件数	件	目標値	2	2	1	1	-
			実績値	2	2	1	1	-
	小中学校特別教室エアコン設 置の教室数	室	目標値	-	2	3	3	-
			実績値	-	7	3	-	-
	特別教室エアコン設置工事の 実施件数	校	目標値	-	-	-	-	7
			実績値	-	-	-	-	7
成果指標	特別支援教育支援員の配置人数	人	目標値	44	47	50	53	56
			実績値	40	41	42	47	53
	改修実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	133	100	200	100
	増築事業の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	-
			実績値	100	100	100	100	-
	特別教室エアコン設置率	%	目標値	-	100	100	100	-
			実績値	-	350	100	-	-
	特別教室エアコン整備率	%	目標値	-	-	-	11	37
			実績値	-	-	-	11	37
	特別支援教育支援員の配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	90	87	84	89	95

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校施設の改修については、計画通り実施した。 また、就学援助等の経済的支援や支援員配置等の学校現場で必要とさ れる支援について適切に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校 施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校 施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
就学援助等の経済的支援や支援員配置等の学校現場で必要とされる支援について継続的に実施する必要がある。 印西市学校施設長寿命化計画に則り、計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	29
実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進		担当部署名	教育政策課
事業の実施目的及び概要	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(文部科学省) 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針	
取組方針	学校の適正規模・適正配置の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★学校の適正規模・適正配置の推進 ・学校適正配置審議会の開催 ・保護者説明会等の実施	★学校の適正規模・適正配置の推進 ・学校適正配置審議会の開催 ・保護者説明会等の実施	★学校の適正規模・適正配置の推進 ・学校適正配置審議会の開催 ・保護者説明会等の実施
事業費	2,180千円	2,180千円	2,180千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	学校適正配置に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・保護者説明会等の開催 ①原小学校の通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会(8回) ②原小学校及び西の原中学校の過大規模校の対応に係る意見交換会(1回) ③(仮称)東の原義務教育学校通学希望調査について(1回) ④(仮称)印西市立東の原義務教育学校の準備の状況について(1回)	当初予算	2,180,000円
		予算現額	2,170,000円
		決算額	1,068,933円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市学校適正配置審議会の開催回数	回	目標値	2	4	5	2	2
			実績値	6	8	4	1	0
	保護者説明会等の開催	回	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
			実績値	4	14	8	18	11
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	学校適正配置の推進	-	目標値	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠であるため、目標指標は設定しない。				
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	原小学校の過大規模校対策として、通学区域制度の弾力的運用に関し、就学先の高花小学校・本埜小学校・船穂小学校の見学会を行った。また、原小学校及び西の原中学校分離新設に関し、保護者・地域住民の方に対し、オンラインにて検討状況を説明し、意見交換を行った。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	原小学校及び西の原中学校については、(仮称)印西市立東の原義務教育学校の新設に向けて検討を進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
一律に規模の適正化を図るのではなく、それぞれの学校規模の特性を踏まえた教育の在り方を整理するとともに、特に、小規模校については、その強みを生かしたモデルの構築を進めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	30
実施計画事業名	情報化社会に対応した教育の推進		担当部署名	教育DX推進室、指導課、教育政策課
事業の実施目的及び概要	国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LANやパソコンなどのICT環境の整備を推進します。 また、研修等を通じた教員の ICT 活用指導力の向上や情報モラル教育等、ハード・ソフトの両面から情報教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画 印西市DX推進方針 印西市教育DX推進計画	
取組方針	情報化社会に対応した教育の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられる まちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の更新及び児童生徒増及び学級増分の整備 ・学校情報化に伴う環境整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による先進的な情報教育の実施 ・学びの変革に関する研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 ★モデル校による先進的な情報教育カリキュラム開発(プログラミング・エンジニアリング教材等の段階的な導入)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・学校情報化に伴う環境整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による先進的な情報教育の実施 ・学びの変革に関する研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 ★モデル校による先進的な情報教育カリキュラム開発(プログラミング・エンジニアリング教材等の段階的な導入)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・学校情報化に伴う環境整備(学級増分) ・校務系サーバー等の更新及び校務系ネットワークと教育系ネットワークの統合 ・ICT支援員の配置 ・ICT支援員による先進的な情報教育の実施 ・学びの変革に関する研修の実施 ・教育DX専門官による教育DXの推進 ★モデル校による先進的な情報教育カリキュラム開発(プログラミング・エンジニアリング教材等の段階的な導入)
事業費	768,532千円	768,532千円	960,718千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設管理に要する経費
	9-2-2	教育振興費	教材整備に要する経費
	9-3-1	学校管理費	中学校施設管理に要する経費
	9-3-2	教育振興費	教材整備に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・GIGAスクール構想第2期に伴い、令和7年度に1人1台端末の入れ替えを実施した。児童生徒数推移を考慮し、12961台の端末を整備した。さらにフルクラウド化に向け、教育系ネットワークの見直しを行った。 ・大型提示装置を学級増分42台(小学校27台、中学校15台)整備した。 ・ICT支援員を令和6年度より1名増員し、6名配置した。 ・教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進のための研修を行った。教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修など、27校の全教員を対象として、デジタル基盤を活用した子供たちの資質・能力向上に関する講座を開催した。 ・教育DX専門官の指示のもと、5中学校区(印西中・印旛中・木刈中・原山中・滝野中)16校でリーディングDX、4中学校区(船穂中・小林中・西の原中・本埜中)11校で生成AI(校務利用)、1中学校区(原山中)3校で生成AI(教育利用)を実施した。また、印西市教育DX推進計画を踏まえ、教育の情報化を進め全小中学校で学校情報化推進認定を受けた。 ・プログラミング・エンジニアリング教材を7校(内野小・原山小・六合小・平賀小・いには野小・原山中・印旛中)に導入した。	当初予算	768,532,000円
		予算現額	806,648,000円
		決算額	728,383,940円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	教育用パソコン整備台数	台	目標値	355	467	645	425	13,280
			実績値	770	332	701	688	12,961
	ICT教員研修回数	回	目標値	9	9	9	9	15
			実績値	22	20	19	105	74
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	教育用パソコン整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
成果指標	ICT教員研修参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	96	100	100
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画に基づき、ICT機器の調達・設置等、運用開始に向けた準備を概ね予定どおり実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	整備したICT環境により、授業・校務での活用機会が拡大し、当初想定した活用環境を概ね確保できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今後は、運用コストと効果の見える化を行いながら、学校現場の利活用を支える支援体制と継続的改善の仕組みを整備していく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
ゼロトラスト・セキュリティの考え方を取り入れたデジタル基盤の構築のための整備を進めていく。具体的には、ネットワークの場所を問わず、すべての通信を個別に認証・認可する仕組みを導入し、セキュリティリスクを低減させるとともに、学校・子ども・保護者・市教育委員会の連携強化・利便性の向上を目指す。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	31
実施計画事業名	信頼される学校づくり	担当部署名	指導課	
事業の実施目的 及び概要	生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うため、安全に関する資質・能力を育てます。 また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭や地域に対してホームページや学校だより等を活用して、積極的に学校の状況を情報発信し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	信頼される学校づくり			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・交通安全教室の実施(全小中学校) ・防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) ・防犯ブザーの貸与 ・自転車通学用ヘルメットの貸与 ・メール配信システムの活用(全小中学校) ・印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 ・日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 ・学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 ・地域ボランティアの活動支援	・交通安全教室の実施(全小中学校) ・防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) ・防犯ブザーの貸与 ・自転車通学用ヘルメットの貸与 ・メール配信システムの活用(全小中学校) ・印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 ・日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 ・学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 ・地域ボランティアの活動支援	・交通安全教室の実施(全小中学校) ・防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) ・防犯ブザーの貸与 ・自転車通学用ヘルメットの貸与 ・メール配信システムの活用(全小中学校) ・印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 ・日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 ・学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 ・地域ボランティアの活動支援
事業費	276,429千円	276,429千円	276,429千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-6-1	保健体育総務費	学校安全事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・交通安全教室及び防犯教室については、全校(小中学校27校)において実施した。 ・防犯ブザーについては、対象となる児童全員(1,237名)に貸与した。 ・自転車通学用ヘルメットは、対象となる生徒全員(230名)に貸与した。 (通学以外にも防犯ブザーの携帯、ヘルメットの着用をしている児童生徒も見られる。) ・メール配信システムを全校で随時活用し、不審者情報や緊急の連絡事項を迅速に配信した。 ・印西市通学路交通安全プログラムに基づいた、通学路点検の実施や関係各課・関係機関との連携により通学路64か所の改善(注意喚起の看板の設置、白線の引き直し、侵入防止柱の設置、路面舗装等)を図った。 ・日本スポーツ振興センター災害給付制度に11,228名の児童生徒が加入し、631件の請求に係る事務手続きを行った。 ・市内の全小中学校が学校ホームページを運営し、日常的に学校の様子を公開している。1校ひと月あたりのアクセス数は平均で1万件を超えている。 ・交通パトロール・除草等の環境整備・読み聞かせ等の地域ボランティアの571名の保険加入をした。	当初予算	276,429,000円
		予算現額	289,538,000円
		決算額	275,077,233円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施校数	校	目標値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
			実績値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
	対象者への自転車通学用ヘルメットの貸与率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	メール配信システムの活用	回	目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	3,506	5,390	5,244	3,543	3,566
	印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
成果指標	学校HPの更新		目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	随時	随時	随時	随時	随時
	重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	1	0
	自転車通学時における重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	1	1
	メール配信システムへの登録率(家庭数)	%	目標値	95	95	95	98	98
			実績値	100	99	98	99	98
	通学路の改善対応箇所(公表値)	箇所	目標値	7	7	20	20	20
			実績値	68	63	89	81	64
	学校HPへの年間アクセス総数	件	目標値	360万	360万	600万	600万	1100万
			実績値	1,010万	1,250万	1,560万	1,682万	2,031万

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画に基づき、おおむね予定どおり実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	計画に基づき、おおむね予定どおり実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を大きく上回る項目もあり、計画に基づいておおむね予定どおり実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
学校から家庭への連絡や情報配信の方法が、メール配信より情報量が多い電子配信ツールに置き換わってきている。しかし、災害時などには確実に情報を伝える必要があるため、電話も含めた様々な連絡ツールが必要である。反対に複数のツールがあることによって、分かりにくいとの意見もあるため、検討していくことが必要である。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号32

1. 事業の概要

実施計画事業名	文化・芸術活動の推進		担当部署名	文化振興課
事業の実施目的 及び概要	市民により豊かな心を育み生活に潤いをもたらしていただくことを目的とし、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を目標とします。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	社会教育法、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設等総合管理計画	
取組方針	文化・芸術活動の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営
事業費	157,069千円	167,569千円	177,569千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-3	文化振興費	文化振興活動に要する経費
	9-5-6	文化ホール費	文化ホール運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・次代の担い手育成とし、伝統文化親子教室を開催した。 ・第30回印西市民文化祭を実施し、オープニングイベントとし、伝統文化親子教室の成果を発表した。 ・芸術文化活動への共催・後援事業等支援を行った。 ・芸術文化振興に関する各種団体との連携及び自立した運営のための助言を行った。 ・第4回目となる「印西まちなか音楽祭」を実行委員会と共催で実施し、約29,500人の方々が来場した。 ・令和5年度より、文化ホールの管理運営は指定管理者となったことからモニタリングを行った。 ・文化ホール主催事業(自主文化事業)として、全25事業(鑑賞型12事業・育成7事業・普及育成2事業・創出4事業)を実施した。	当初予算	157,069,000円
		予算現額	157,069,000円
		決算額	154,137,025円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民文化祭への参加・出品募集の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	4	4	4	4
	市民文化祭開催の周知	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
	芸術文化活動への共催・後援の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2
	文化ホール主催事業の広報・HP掲載	回	目標値	16	16	16	75	75
			実績値	22	32	47	77	79
成果指標	市民文化祭への参加・出品数	点	目標値	250	250	250	310	310
			実績値	308	310	322	302	251
	市民文化祭来場者数	人	目標値	1,200	1,250	1,300	5,000	5,000
			実績値	3,652	4,722	5,997	5,738	6,440
	芸術文化活動への共催・後援数	件	目標値	5	10	15	30	33
			実績値	21	32	37	39	27
	文化ホール利用率 (大森図書館除く)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43	59	54	65	69
	チケット売上率(有料公演有効 チケット枚数に対する売上枚数)	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86	75	72	72	76

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を継続し、目標値に満たなかった指標については今後達成できるように努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	33
実施計画事業名	文化財の保護・活用の推進		担当部署名	文化振興課
事業の実施目的及び概要	地域に対する愛着心を醸成することを目的とし、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護や保存及び活用を進めます。先人の残した文化遺産である本市の歴史や文化財の価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、資料に触れる環境整備に努めます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例、印西市文化財保護条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン、(仮称)印西市歴史文化施設基本計画	
取組方針	文化財の保護・活用の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)				単位:千円
	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・道作1号墳調査報告書の刊行 ・石造物調査の実施(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行 ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ★有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・歴史文化施設建設に向けた庁内検討 ・企画展の開催準備	・石造物調査の実施(印旛地区) ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ★有形・無形民俗文化財に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・歴史文化施設の基本設計 ・企画展の開催	・石造物調査の実施(印旛地区) ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ★有形・無形民俗文化財に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・歴史文化施設の実施設計	
事業費	28,714千円	159,519千円	284,817千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-5-3	文化振興費	文化財審議会運営に要する経費
	9-5-3	文化振興費	文化財保護調査事業
	9-5-3	文化振興費	資料整理保管に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史民俗資料館運営委員会に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館事業活動費
	9-5-7	資料館費	資料館運営事務に要する経費

3. 事業実績等				単位:円
令和7年度の 事業実績・成果	・道作1号墳調査報告書の刊行(300部) ・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行(500部) ・歴史的建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査の実施(17地点) ・市内遺跡発掘調査報告書(令和5年度分)の刊行(300部) ・市内史跡維持管理事業(4箇所) ・有形・無形文化財保護に対する補助(16件) ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・収蔵資料データベース化の準備 ・石造物調査(印旛地区)の実施 現地調査(2回)、調査資料整理(3回) ・歴史民俗資料館展示事業 常設展示(通年)、ミニ展示1回(7月27日～8月31日) ・歴史民俗資料館資料収集・整理保管事業 収蔵資料及び借用資料(歴史資料、民俗資料、考古資料)の写真撮影、目録作成などの整理、温湿度管理、資料くん蒸を実施 ・歴史民俗資料館調査研究事業 市内出土埴輪(5回)、古文書(23回)、民俗資料(6回)、民俗行事(2回)の調査、整理を実施 計36回 ・歴史民俗資料館普及事業 資料の利用(18件・2,607点うち庁内利用7件・1,752点)、体験講座(4回)、資料館講座(3回)、歴史探訪(2回)を実施(9回延べ152人)、館報の復刊(第14号～第16号・各800部)、冊子歴史探訪刊行(400部)、ミニ冊子昭和100年刊行(100部)、しおり(ブックマーク)作成、ワークシート作成 ・歴史民俗資料館研究紀要第8号刊行(400部)	当初予算	28,714,000円	
		予算現額	32,503,000円	
		決算額	28,918,030円	
		翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値								
指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	調査報告書・パンフレットの刊行	部	目標値	600	600	600	3,600	600
			実績値	5,300	2,800	300	3,300	2,300
	調査報告書・パンフレット刊行の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	1	2	3
	文化財等活用事業の周知	回	目標値	6	6	6	7	9
			実績値	5	4	7	11	7
	歴史民俗資料館運営事業における利用資料数	点	目標値	300	300	300	600	600
			実績値	486	703	668	709	2,607
歴史民俗資料館企画展・講座、調査等実施回数	回	目標値	5	5	5	20	20	
		実績値	7	24	29	49	51	
成果指標	調査報告書・パンフレットの販売・配布数	冊	目標値	300	350	350	400	350
			実績値	1,300	1,400	1,400	2,350	1,800
	文化財等活用事業参加者数	人	目標値	50	60	70	80	120
			実績値	140	80	135	137	109
	歴史民俗資料館収集資料数	点	目標値	65,000	65,020	65,520	65,530	65,570
			実績値	65,503	65,509	65,733	65,740	65,740
	歴史民俗資料館入館者数	人	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	842	751	794	808	879
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性	
今後の方向性や課題等	
事業を継続し、目標値に満たなかった指標については今後達成できるように努める。	

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	34
1. 事業の概要				
実施計画事業名	市史編さん事業や地域史料の保存		担当部署名	文化振興課
事業の実施目的及び概要	市民の活動を記録した地域資料を次世代に引き継ぎ、郷土の歴史・文化への関心・理解・愛郷心の高揚を育むため、歴史的公文書の移管並びに歴史資料や古文書を収集し、整理・調査研究・保存に努めるとともに、その活用を図ります。 また、市史編さん事業の実施により、市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を順次刊行し、市民共有の財産として後世に継承します。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	印西市立木下交流の杜歴史資料センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市史編さん委員会設置条例、印西市史編さん専門委員設置要綱、印西市史編さん事業基本方針、博物館法、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	市史編さん事業や地域史料の保存			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 4 質の高い教育をみんなに  11 住み続けられるまちづくりを			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 資料編中世原稿執筆・編集、資料編近世及び資料編原始・古代編集準備、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 資料編中世刊行、資料編近世原稿執筆・編集、資料編原始・古代及び通史編原始・古代、通史編中世編集準備、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 資料編近世原稿執筆・編集、通史編中世原稿執筆・編集、通史編近世編集準備、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営
事業費	13,064千円	16,399千円	21,771千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-7	資料館費	市史刊行事業
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター事業活動費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター運営事務に要する経費
	9-5-7	資料館費	市史編さん委員会運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・古文書等の収集・整理保管を実施した。 ・歴史公文書の収集・整理保管を実施した。 ・各専門部会の資料収集・調査を実施した。 ・市史刊行物頒布を実施した。(販売数183冊) ・市史刊行事業を実施した。 ・市史編さん講演会を開催した。 ・資料のくん蒸を実施した。 ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営を実施した。	当初予算	13,064,000円
		予算現額	13,064,000円
		決算額	9,152,890円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市史編さん委員会の開催	回	目標値	2	2	3	3	3
			実績値	2	2	3	2	2
	専門部会の開催(原始・古代)	回	目標値	—	—	—	—	2
			実績値	—	—	—	—	—
	専門部会の開催(中世)	回	目標値	2	4	4	4	4
			実績値	2	1	2	3	3
	専門部会の開催(近世)	回	目標値	3	3	4	4	4
			実績値	0	1	2	2	4
	専門部会の開催(近・現代)	回	目標値	3	6	3	—	—
			実績値	4	3	4	—	—
成果指標	市史刊行物等の頒布	部	目標値	58	59	61	62	65
			実績値	59	60	63	64	65
	市史編さん講演会等の参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	35	70	0	64	42
	木下交流の杜歴史資料センターの来所者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,833	3,174	3,495	2,821	2,822
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	概ね目標値を達成した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を継続し、目標値に満たなかった指標については今後達成できるように努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	35
実施計画事業名	多様な学習機会の提供		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の関心や参加意欲の向上を目指し、市民アカデミーや出前講座で市民の学習に対するニーズや年齢層に合わせた多種多様な学習機会を提供するとともに、様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努め、生涯学習ガイドやホームページによる情報提供の充実を図ります。 また、大学や企業などとの連携・協力した事業を展開し、市民の学習機会の拡充を図ります。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	多様な学習機会の提供			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	4 質の高い教育を みんなに  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援
事業費	671千円	671千円	671千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-1	社会教育総務費	生涯学習推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・生涯学習ガイド300部発行,市内各施設(支所・図書館・公民館・幼・保育園・小中学校等)に配置し、ホームページにも掲載した。 ・生涯学習ガイドにて講師、指導者情報の充実を図った(掲載数143人)。 ・市民アカデミーは、学習内容の一部を見直し、1年生18人・年間23回、2年生18人・年間10回実施した。 ・出前講座は回覧・広報等で周知に努め、昨年度より申込数、利用者数ともに増加した。 ・順天堂大学生涯学習公開講座で3講座を実施し、15組50名が参加した。また、市民アカデミー内においても順天堂大学及びUR都市機構に事業協力を得た。 ・生涯学習及び社会教育事業を行う団体の活動に対し後援支援を行った。(16事業)	当初予算	671,000円
		予算現額	701,000円
		決算額	551,723円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	生涯学習ガイドの広報での周知回数	回	目標値	—	—	2	2	2
			実績値	—	—	2	0	1
	出前講座講座数	件	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	64	63	60	58	61
	市民アカデミー開催数	回	目標値	76	76	76	76	76
			実績値	25	30	31	35	33
	高等教育機関等との連携した講座数	件	目標値	4	5	5	6	6
			実績値	4	5	5	4	4
			目標値					
			実績値					
成果指標	出前講座利用申込数	件	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	31	53	57	37	49
	出前講座利用人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	419	928	848	896	962
	市民アカデミー参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	46	26	24	38	36
	生涯学習ガイドのホームページアクセス数	件	目標値	700	700	700	2,100	2,100
			実績値	1,262	2,088	2,506	1,432	2,354
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	全体的に目標値を下回る結果となり、改善に向けた方策を研究・検討していく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	出前講座の利用人数は回復傾向にあり、参加者は前年と比較すると増加した。内容のブラッシュアップを図り、幅広い年齢層から利用してもらえる事業としたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	全体的に目標値を下回る結果となり、改善に向けた方策を研究・検討していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民アカデミーは生涯学習の起点でもあるリカレント教育の場であり、欠かす事の出来ない事業である。また、出前講座や生涯学習ガイドは、自分や仲間内で学びの機会のきっかけとなるため、今後も内容の充実に対して検討を進めていきたい。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	36
実施計画事業名	図書館サービスの充実		担当部署名	図書館課
事業の実施目的 及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進し、また、地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設となるよう、従来の来館型サービスの他、電子書籍の導入など非来館型サービスの充実を図り、図書館の利用を促進します。 また、利用しやすい環境整備に努めるため、施設整備のあり方などについて調査・研究します。 さらに、読書活動を深める機会の提供や読書環境の整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	図書館法、印西市立図書館設置条例及び同条例施行規則、第2期印西市教育振興基本計画、印西市子ども読書活動推進計画(第四次)、印西市公共施設等総合管理計画、印西市DX推進方針、印西市立図書館サービス計画	
取組方針	図書館サービスの充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	4 質の高い学びを みんなに  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・資料の収集・管理及び提供 ・ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 ・電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ・子どもの読書活動推進 ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書館の貸出窓口運用開始 ・本埜ファミリア館改修工事(本埜図書館) ・民話絵本の作成	・資料の収集・管理及び提供 ・ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 ・電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ・子どもの読書活動推進 ・小倉台図書館保全改修工事 ・ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館)	・資料の収集・管理及び提供 ・ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 ・電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ・子どもの読書活動推進 ・小倉台図書館保全改修工事 ・図書館システム更新の実施
事業費	153,682千円	875,888千円	370,688千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-5-5	図書館費	図書館協議会運営に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館運営事務に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館施設管理に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館資料の整備に要する経費
	9-5-5	図書館費	小倉台図書館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・資料の収集・管理及び提供を行った。 ・ホームページ等による蔵書の公開や記事の更新を行った。 ・電子書籍を新たに436タイトル提供し、非来館型サービスの充実を図った。 ・子ども読書活動推進計画(第四次)に基づき児童書の収集や児童向けの事業等を実施した。 ・コスモスパレットパレットⅡに「図書館の貸出窓口」を開設し、令和7年4月1日より開館した。 ・本埜ファミリア館の保全改修工事に伴い本埜図書館を令和7年6月16日から令和8年3月31日まで休館し、令和8年4月1日の再開館に向けての準備を行った。 ・ふれあいセンターいんばの保全改修及び複合化工事に伴い印旛図書館を令和7年8月1日から休館した。 ・小倉台図書館保全改修工事の内容及び休館期間の対応を検討した。 ・民話絵本「光堂の竜」を3,000部作成した。	当初予算	153,682,000円
		予算現額	145,866,000円
		決算額	140,679,759円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	図書資料受入点数	点	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	10,406	10,033	11,496	14,090	15,404
	内児童資料受入点数	点	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,800
			実績値	2,075	1,976	2,664	4,450	4,810
	資料予約件数	件	目標値	127,000	127,100	127,200	150,000	160,000
			実績値	142,754	142,449	156,685	162,536	166,495
	電子書籍受入点数	点	目標値	300	350	400	450	500
			実績値	350	295	278	383	436
成果指標			目標値					
			実績値					
	個人貸出点数	点	目標値	820,000	820,500	821,000	821,500	850,000
			実績値	839,613	814,954	845,338	822,646	805,818
	内児童資料貸出点数	点	目標値	320,000	320,200	320,400	350,000	365,000
			実績値	349,754	346,295	360,201	345,009	340,599
	レファレンス件数 ※レファレンス-調べものを支援するサービス	件	目標値	25,000	25,100	25,200	25,300	25,400
			実績値	17,970	18,873	19,766	20,458	19,955
	電子書籍貸出点数	点	目標値	1,000	1,150	1,200	1,350	1,650
			実績値	1,395	988	1,610	1,508	1,587
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
事業を現行のまま継続して実施するとともに、新たな体制のもと、図書館が地域におけるコミュニティの拠点として機能するよう、市民ニーズに即した新規事業及びサービスの検討を進める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	37
実施計画事業名	生涯学習施設の整備・充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	子どもから高齢者まで市民一人ひとりの多様な学習活動の実践や参画を側面から支援し、自己実現につながる生涯を通じて学習できるまちづくりを推進していきます。 そのためには、多様化する市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、各公民館等では年齢層等に対応した事業や地域の特性を生かした事業を展開するとともに、学習の場を提供するため、だれもが安全で安心して快適に施設を使用するため、適正な施設機能の確保に努めていくこととします。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例及び規則 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 第2期印西市教育振興基本計画等	
取組方針	生涯学習施設の整備・充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・公民館等主催事業(子ども対象、 大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設の指定管理者による管理 運営 ・中央公民館移転検討	・公民館等主催事業(子ども対象、 大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・ふれあいセンターいんば改修及び 複合化に伴う備品運搬業務 ・印旛公民館解体設計業務 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設の指定管理者による管理 運営 ・中央公民館移転検討	・公民館等主催事業(子ども対象、 大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・印旛公民館解体撤去工事 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設の指定管理者による管理 運営 ・中央公民館移転検討
事業費	618,955千円	633,547千円	709,503千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-4	公民館費	公民館運営審議会運営費
	9-5-4	公民館費	中央公民館運営事務に要する経費、小林公民館運営事務に要する経費、そうふけ公民館運営事務に要する経費、印旛公民館運営事務に要する経費、本埜公民館運営事務に要する経費
	9-5-4	公民館費	中央公民館事業活動費、小林公民館事業活動費、そうふけ公民館事業活動費、印旛公民館事業活動費、本埜公民館事業活動費
	9-5-4	公民館費	中央公民館施設管理に要する経費、小林公民館施設管理に要する経費、そうふけ公民館施設管理に要する経費、印旛公民館施設管理に要する経費、本埜公民館施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	ふれあい文化館立替償還金、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・公民館等主催事業(子ども対象事業、大人対象事業等)の実施 ・子ども対象事業 34事業 2,096人 ・大人対象事業 39事業 13,405人 ・共催事業 2事業 24人 ・団体育成事業の実施 130団体 ・個人学習事業の実施 8,621人 ・貸館事業の実施 110,565人 ・施設維持管理事業 (中央公民館 4,469,520円 小林公民館 237,600円 そうふけ公民館 166,100円 印旛公民館 846,010円 本埜公民館 16,500円) ・印西市立中央公民館空調設備設置工事 17,039,000円(令和6・7年度継続) ・印西市立中央公民館第1会議室空調機器新設工事 891,000円 ・ふれあい文化館ガイドレール交換工事 1,265,000円 ・公民館の利用制限の緩和の検討 ・中央駅前地域交流館(コスモスパレット)運営開始	当初予算	618,955,000円
		予算現額	623,305,000円
		決算額	597,923,744円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	主催事業実施数	事業	目標値	70	75	70	75	80
			実績値	51	67	77	68	82
	公民館等定期利用団体数(利用者登録団体)	団体	目標値	230	240	240	240	240
			実績値	136	133	131	126	130
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	主催事業参加者数	延べ人数	目標値	24,000	24,000	23,800	24,700	25,000
			実績値	11,838	15,241	16,237	16,001	15,525
	公民館等利用者数	延べ人数	目標値	200,000	226,000	220,000	235,000	242,000
			実績値	111,626	152,964	189,191	157,857	262,477
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値を上回る主催事業を実施した。また、コスモスパレットパレットⅡの開館により、定期利用団体数も増加した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	主催事業参加者数は減少したものの、コスモスパレットパレットⅡの開館により、利用者数は大幅に増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を下回る項目もあったが、全体的にコスモスパレットパレットⅡの開館により、前年度の実績を上回る結果となった。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
より多くの市民に事業へ参加いただくために、魅力的な企画や、周知の方法を検討する。また、公民館等の使用団体へ支援の拡充を図り、新たな団体の立ち上げや既存団体の活性化へつなげるよう努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	38
実施計画事業名	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	子どもたちを地域ぐるみで守り育てるために、学校・家庭・地域との連携を図り、青少年の健全な育成にむけた活動を行います。 また、家庭における教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 第2期印西市教育振興基本計画 新・放課後子ども総合プラン 次世代育成支援対策推進法他	
取組方針	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 持続可能な 都市づくり			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・こども110番事業の実施 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・家庭教育の推進 ・地域学校協働活動の支援 ・二十歳を祝う会の開催	・こども110番事業の実施 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・家庭教育の推進 ・地域学校協働活動の支援 ・二十歳を祝う会の開催	・こども110番事業の実施 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・家庭教育の推進 ・地域学校協働活動の支援 ・二十歳を祝う会の開催
事業費	18,345千円	16,863千円	16,863千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-2	青少年対策費	青少年相談員運営に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	青少年対策事業活動費
	9-5-2	青少年対策費	家庭教育学級事業
	9-5-2	青少年対策費	二十歳を祝う会に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	放課後子ども教室に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・子ども110番事業について、看板・ステッカーの配布(156枚)や保険加入を行った。 ・社会を明るくする運動青少年健全育成大会については、滝野中学校に出演いただいた。 ・放課後子ども教室については、滝野小学校(10回/64人)、本埜小学校(10回/29人)、原山小学校(207回/88人)で合計227回の実施、181人の参加があった。(参加人数は利用登録者数) ・家庭教育学級について必修学級28学級、任意開設の学年学級2学級を開設した。各学級5～10回程度の学習会を開催し、1,821名が参加した。 ・地域学校協働活動の支援として、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業に補助金を交付した。 ・二十歳を祝う会を開催し、723名が参加した。	当初予算	18,345,000円
		予算現額	16,783,000円
		決算額	11,278,762円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	放課後子ども教室開催数	回	目標値	24	36	36	36	266
			実績値	16	20	20	228	227
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	95	147	147	186	189
	家庭教育学級開設学級数	学級	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	33	33	34	34	30
			目標値					
			実績値					
成果指標	こども110番協力家庭・事業所数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,600
			実績値	1,466	1,543	1,601	1,622	1,567
	放課後子ども教室参加児童数	人	目標値	90	110	110	110	140
			実績値	62	81	72	154	181
	家庭教育学級講座参加者数	延べ人数	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,051	1,557	1,375	1,721	1,821
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	全体的に前年度と同様の実績にとどまり、目標値を下回る結果となっているため、改善に向けた方策を検討していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標を上回る成果を果たした項目もあるが、それ以外の活動については活動の活性化に向けた創意工夫と関係者の理解が必要である。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値に到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成の推進を図るため、事業を継続する。